



# 例会報告

高山西ロータリークラブ

第 2 6 3 0 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1 9 6 6 年 1 月 1 5 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 井辺 一章
- 幹事 堺 和信
- 会報委員長 田中 晶洋



そば畑の散歩道 田中 晶洋

## 高山3RC合同ガバナー公式訪問例会

9月20日(火) 12:30~ ひだホテルプラザ

### <プログラム>

司会進行	高山中央RC幹事	中田 学
点 鐘	高山中央RC会長	田中 雅昭
ロータリーソング	奉仕の理想	
ゲストの紹介	高山中央RC会長	田中 雅昭
国際ロータリー第2630地区	ガバナー	劔田 廣喜 様
国際ロータリー第2630地区	岐阜県濃飛グループAG	長瀬 隆 様
地区委員の紹介	高山中央C会長	田中 雅昭
国際ロータリー第2630地区	パストガバナー	桑月 心 様
国際ロータリー第2630地区	会計長	前越 路子 様
国際ロータリー第2630地区	代表幹事	伊藤 正隆 様
国際ロータリー第2630地区	地区大会実行委員長	島 良明 様
国際ロータリー第2630地区	広報/IT部門委員長	伊藤 松寿 様
国際ロータリー第2630地区	青少年育成小委員会委員長	下田 徳彦 様
国際ロータリー第2630地区	会員増強委員	平林 英一 様
国際ロータリー第2630地区	青少年交換委員	村瀬 祐治 様
国際ロータリー第2630地区	米山記念奨学委員	三枝 祥一 様
国際ロータリー第2630地区	幹事 小森 丈一、住 宏夫、三枝 祥一、橋本 修、石清水 亘、清水 幸平、大保木 正博、松之木 映一、村瀬 祐治 様	
食 事		
会 長 の 時 間	高山中央RC会長	田中 雅昭
出 席 報 告	各クラブ出席委員長	
ニコニコボックス	高山中央RCニコニコ委員長	
歓 迎 の 挨拶	高山RC会長	住 宏夫 様
ガバナー紹介	長瀬 隆ガバナー補佐	
ガバナー表彰・卓話		
謝 辞	高山西RC会長	井辺 一章 様
点 鐘	高山中央RC会長	田中 雅昭

### <会長の時間>

皆様こんにちは。本日は国際ロータリー第2630地区ガバナーの劔田廣喜様をお迎えしての、高山3ロータリークラブ合同ガバナー公式訪問例会です。劔田廣喜ガバナー様、長瀬隆ガバナー補佐様はじめ地区役員、地区委員、地区幹事の皆様方にはお忙しい中ご臨席賜り、誠にありがとうございます。本日は宜しくお願ひ致します。



さて昨年は高山ロータリークラブ60周年、高山西ロータリークラブ50周年、高山中央ロータリークラブ25周年と、各クラブに於いて周年事業が盛大に執り行われた事に対し、心よりお慶びを申し上げますと共に、敬意を表するものであります。次の周年事業に向け、また新たなる目標に向かって、飛躍されることを心から御祈念申し上げます。

さて今年4月に来日した南米ウルグアイの元大統領ホセ・ムヒカ氏の事は、皆さんもよくご存じと思いますが、「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」をお聞きになったかと思います。元大統領は先人の言葉を引用し「貧乏な人とは、少ししか物を持っていない人の事ではなく、無限の欲があり、いくらあっても満足しない人のことだ」と言われました。ウルグアイは長きに亘って、マイナス成長が続き経済危機が有りましたが、今は回復基調にあるようです。しかし経済的には豊かな国とは言えません。そんな中、人類の幸福度が国連から提供されている、「世界幸福度報告書2016」では、150数ヶ国中ウルグアイは29位です。日本はと言うと53位となっています。ちなみに1位デンマーク、2位スイス、3位アイスランド、4位ノルウェイ、他ではアメリカ13位、タイ33位、中国83位・・・との結果です。経済的豊かさ、人類の福祉の指標は同じではありません。物質的な物、金銭的な裕福さだけでなく、心の豊かさ、焦点をあて、例会に多く出席する事で、心豊かな人格を形成する事で、奉仕の心を芽生えさせ、「超私の奉仕」に皆様と共に邁進しようではありませんか。

最後になりましたが、2016-17年度 国際ロータリー第2630地区の地区大会が、来る10月22日、23日(ロータリーデー19日~23日)に開催されます。まずもって各クラブ様には全員登録をして頂き誠にありがとうございました。2年あまり前から準備をしまいましたが、全ては人事を尽くして天命を待つ如く、高山3ロータリーの皆様方のご協力のもと、今を大切に、最善を尽くす事で最高の地区大会「心の心を文化に!! 飛騨高山で!!」を成功させる事が出来るものと確信しております。最後までご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます、会長の時間とさせていただきます。ありがとうございました。

さて会長支持率はいかが!!そしてガバナー支持率は?



写 真 撮 影 3RC合同

# 例会報告

## <出席報告>

高山RC 会員数 41 名 欠席者 5 名 出席率 87.81 %  
高山西RC 会員数 39 名 欠席者 11 名 出席率 71.79 %  
高山中央RC 会員数 59 名 欠席者 11 名 出席率 81.03 %

## <ニコニコBOX> 高山中央RCニコニコボックス委員

国際ロータリー第2630地区ガバナー 劔田 廣喜 様  
本日はよろしくお願ひ致します。

濃飛グループ ガバナー補佐 長瀬 隆 様  
本日はガバナー公式訪問で大変お世話になります。宜しくお願い申し上げます。

高山RC会長 住 宏夫 様  
高山西RC会長 井辺 一章 様  
高山中央RC会長 田中 雅昭 様

国際ロータリー第2630地区 ガバナー劔田 廣喜様、濃飛グループガバナー補佐 長瀬 隆 様、本日はご指導よろしくお願ひ致します。また地区委員会委員長および委員の皆様、地区大会実行委員長および地区幹事の皆様本日はご出席ありがとうございます。

## <歓迎の挨拶>

高山RC会長 住 宏夫 様

皆さんこんにちは。国際ロータリー第2630地区ガバナー劔田 廣喜様をはじめとする地区役員の皆様、2630地区の北の果て高山の地によろこおいでくださいました。と歓迎の挨拶が始まるのですが、長瀬隆ガバナー補佐以外の役員はすべて高山3ロータリークラブのメンバーですので、長瀬隆ガバナー補佐だけに特別遠いところ高山へようこそと言いつつ、高山3クラブ合同例会に、地区役員の皆様のご臨席賜りありがとうございます。



さて、RI 会長・ジョン・F・ジャームさんは、「人類に奉仕するロータリー」をテーマに、世界を見すえた活動を推進しています。私たちも、その活動についていくことが必要ですが、まずは足元を固めていく必要があります。劔田ガバナーは、「最も出席するもの、最も報いられる」をテーマに、101年前のロータリー創立の精神を大切に活動しています。後ほど劔田ガバナーには、卓話をいただきますがその思いを熱く語っていただけるものと思います。

そして、1か月後には、地区大会が開催されます。私たち高山地区のクラブとして一致団結して開催できるようバックアップしていきます。

なにはともあれ、今日は、地元でのガバナー訪問ですので楽しい例会になれると思います。今日は、よろしくお願ひします。

## <ガバナー表彰・激励>

30年以上100%出席

高山RC … 洲岬 孝雄、  
北村 勝、岩堤 慶明、戸沢 幸夫、  
西野 徹、早川 宏治、角竹 邦雄

高山西RC … 挾土 貞吉、  
伊藤 松寿、平 義孝

35歳以下正会員 高山西RC … 榎坂 純一



## <ガバナー紹介>

濃飛グループガバナー補佐 長瀬 隆 様

皆さんこんにちは。劔田ガバナーのご自宅は歩いて5分との事ですし、皆さんの方が良くご存じです。高山へ来て、私からガバナーの紹介というのも、あまりにも失礼だと思いますし、経歴も沢山持ってみますので省略させていただきます。

昭和24年4月18日生まれの67歳、ちなみに私も昭和24年生まれです。では劔田ガバナー、よろしくお願ひします。



## <ガバナー卓話> ガバナー 劔田 廣喜 様



本日の公式訪問はホームということで、最もリラックスできると高をくくっておりましたが、あにはからんや、これまでの公式訪問の中でも一番緊張しております。それにはそれなりの理由があります。逆にホームゆえに皆さん一人一人をよく存じ上げているが故であります。本日は会員卓話ではなく、ガバナー卓話でありますので、私に課せられた責務を果たしますので悪しからずお付き合いをお願いします。

2016年度規定審議会で大きな変更があり、それによってクラブが混乱していると聞きます。2016年度規定審議会の変更をひと言で言えば、クラブに柔軟性を持たせること即ち、今までは、決まったことを「頼り」にしていれば済んだところが、これからは、クラブの在り方全てがクラブにその自由と、責任が課せられたとも云えます。クラブが自主性をもって進むべき方向を決定しなければならぬと云うことです。つまり発展するも沈滞するも、クラブ次第になったのです。また見方を変えれば、日本の伝統的なロータリー文化を順守しようと考えれば、今まで以上にその理念を明確に打ち出すことも可能であると考えられます。いずれにせよ、RIの示す方向に進んでもよし、伝統を守ってもよし、多様性が認められ、クラブは二極分化が進むでしょう。これからは、クラブが選ばれる時代となります。

それでは、クラブの方向性を示すものはなにか？云うまでもなくクラブ細則です。細則の中で、独自性即ち所在地域における存在意義を示すことができないクラブいずれの方向性も示すことができないまま途中半端なクラブ、クラブ細則で管理運営できないクラブが衰退するであろうことは断言できます。(服部芳樹PDG 2016~17~18年ロータリークラブ細則 原案解説参照)  
今回の規定審議会変更の背景にあるもの(パッポーン)は、現在、国際ロータリーによると、ロータリー会員の70%以上が50歳以上であり、30歳未満が世界人口の約半分を占める今日の世界と大きくかけ離れています。会員増強のカギの一つは、例会に関する厳しい規則を和らげ、また日本のロータリーが心捧している伝統的なロータリーの在り様、基本的なルールを変えることによって、若い世代とデジタル志向の人びとのニーズに応えるという若い世代へのプロモーション、リクルートであると思います。そして、若い世代

## 例会報告

の参加を促すには「時代に即す」ことが何よりも重要という考えに沿った変更であります。

では、「時代に即す」とはどのようなことでしょうか？私が国際協議会で研修を受けてきたフレッシュな視点が軍に改革をもたらすきっかけとなった、ある事例です。新米兵たちの基礎訓練で、教官が大砲の使い方について説明している時の事です。弾をこめた後、8秒数えてから発射するようにと教官は言いました。教官が先に進もうとしたとき、新兵の一人が、軍隊では通常タブーとされている行動に出ました。手を上げて質問したのです。「教官、なぜ8秒待たなければならぬのですか？」明らかに面食らった教官は、それに答えずに次の説明を続けました。しかし、その質問が頭から離れず、数日後、8秒ルールについて同僚に効いてみました。軍事マニアだった同僚が調べた結果、8秒ルールの由来が明らかになりました。昔は馬を使って前線に大砲を運んでおり、発射音が馬が怯えないように大砲から遠ざけるのに必要な時間が8秒だったのです。ここ数十年、馬は使っていないにもかかわらず、ルールだけが残ったというわけです。

おかしな話だと思われるかもしれませんがロータリーにも同じような事があると思います。最近ではロータリー活動が多面的になり、新しい会員には、ロータリーとは何であるか余程よく説明しないと、わかり難いと思われるので、ロータリーに経験の深いベテランロータリアンによる簡便な説明が伴わないと、ロータリーが何であるかわからないまま、或いは終わってしまうことにもなりかねないと危惧しています。単に定款・細則やロータリー用語の開設に終始することなく、会員自身がロータリーに興味をもち、自らがもっとロータリーを知ろうとする、そして一人でも多くの会員にロータリーが好きになるきっかけを与えることが大切ではないでしょうか。新しい会員にやりがいのあるプログラムを提供することです。こうしてロータリーを知ることにより、ロータリーに情熱を燃やすようになり、意欲的なロータリアンになるものと思われまます。

今回の変更で見てきたものがあります。それは、RIの変質であります。これまで、国際ロータリーは3年ごとの規定審議会を経るごとに、雪崩を打つかのように変貌し、今や国際ロータリーはロータリー財団頼みの組織に変質しました。国際ロータリーは人道的世界社会奉仕事業を看板とする組織なのです。ファイナルインチを迎えたポリオ撲滅に続いてRIが未来を託す巨大プログラムは世界平和に関するものでしょう。ノーベル平和賞まで視野に入れた徹底した成果主義によってRIのブランド、アイデンティティーの確立を目指したのです。これが財団100年の歴史が指し示すRIの方向性です。

この様に国際ロータリーは、人道的世界社会奉仕に向かって突き進んでいきます。私は人道奉仕が悪いと言っているのではありません。ロータリアンは常に弱者に涙する心を失ってはなりません、財団の寄付、人道奉仕はできる限りしなければなりません。ただ、それはロータリアンが例会で奉仕の心を身に着けたことの反射的効果にすぎないので、あくまでも、ロータリーの心を磨き職業奉仕の専心によって自分の職業を安泰にしてからということです。今や例会やクラブ委員会活動における人間形成への努力が忘れ去られ、寄付額や単なる社会奉仕活動の実績だけでロータリークラブやロータリアンが評価されることに重点が置かれ、その見返りにロータリーが失ったものはロータリー精神性、ロータリーの心であります。ここで、ロータリーの心を説明させていただきます。

私達は今『ロータリー』をあまりにも難しく考え、語ってきたのではないかと思います。ロータリーという組織は決して複雑で難解なものであってはならないし、そうなるものでもありません。なぜならばロータリーの理念は古くから人間が大切にしてきた道徳、つまり中国で古くから使われる仏教用語の寛恕(広い心で許す)(わたしは、思いやりの心、助け合いに心とっております)。ですからロータリーが訴えかけている奉仕の理念は時代を超えて変えてはならないロータリーの心と呼びなおしてもいいと思います。

ここで、ロータリーのこころとは何かを解りやすく話させていただきます。「昔、インドに相思相愛の王様夫婦がいました。ある日王

様が最愛の奥様に、『よく考えてみると、私は、最愛のお前より、私自身が一番愛しいように思う。』といわれました。それに対して奥様も、『実は、私も、貴方より私自身の方が一番愛しいと思います。』と答えられました。王様は『皆が皆、自分自身が一番可愛いと思ったら、この世の中は成り立たないから、お釈迦様に聞いてみよう。』と云って二人でお釈迦様を尋ねたそうです。お釈迦様は、二人の話を聞いて『人間は誰でも皆、自分自身が一番可愛いのです。それでいいのです。ただ、相手も、自分自身が一番可愛いと思っていることを忘れないように。』とお諭しにられました。」

ここに相手に対する思いやりの心が生まれるのです。自分以外の人に対する愛が始まるのであります。世の中の人々が皆、このような心、「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」という心を持って初めてこの世の中が成り立つのであります。自分自身を愛することが出来て初めて人を愛することが出来るのです。そして世の中の人々のことを考えることが出来るのであります。これがとりもなおさず「ロータリーの心」であります。

ここで職業奉仕の説明をします。職業奉仕は儲けたいという内向きのエネルギーとお客に役立ちたいという外向きのエネルギーの調和ですこれは寛容なくしては果たせません。この相反するエネルギー中心に、ロータリーの心(相手に対する思いやりの心)を置くことが職業奉仕であります。またこれが巡り巡って自らの利益へ帰ってくるという因縁果律(世の中の成り立ちは、善悪で構成されているのではなく、あくまで前世因縁なのである)です。地球上でボールを投げあげたら、やがて地上に落ちてくることに似て、覆すことのできない自然の法則なのです。だからこそ永続しているのです。

奉仕の第1世紀を終え、国際ロータリーはロータリアンに「ロータリーの心」を浸透させ、ひいては世間の人に高潔性を以てなるロータリーとして認知してもらうという初期の目的を達成することに失敗しました。「ロータリーの心」は世間で認知されないばかりか、ロータリアン自身の職業上の不正も相次いでいます。ロータリーの存在すら世間で認知されていないありさまです。アインシュタインは語りました。「同じことを繰り返しながら、違う結果を期待することは、狂気である」と。かくしてRIは従来の手法を変えて出してきたのが、「戦略計画」、財団の「夢計画」に他ならないのです。「戦略計画」それを支える「夢計画」で訴えていることは、「人道的奉仕活動の重点化と増加」であります。そのための財政的支援、それを可能にする会員増強、それを促進する公共イメージ、認知度の向上を目指したのです。ところが「人道的奉仕」が「職業奉仕」を凌駕してしまったのです。この変貌が行く末を不安にしている現在の様子です。

このように、ロータリーから基本的理念が失われ例会、職業奉仕は形骸化し、ロータリーの空洞化となり、安易なボランピア団体に移行してしまう事を絶対に止めなければなりません。それは、ほこり高き日本のロータリー文化を受け継いで、例会、職業奉仕を大切に人づくりのロータリーの構築です。(「続ロータリーを語ろう」・「新ロータリーを語ろう」)RID2680 久野薫パストガバナ一著参照

### < 謝辞 >

高山西RC会長 井辺 一章

皆様、本日はご苦勞様です。劔田ガバナ、素晴らしいスピーチ本当にありがとうございます。本日のガバナ公式訪問例会に高山3クラブ平均78.48%の出席率感謝いたします。

これで御礼の挨拶とさせていただきます。

